

一般財団法人 関東電気保安協会による出前授業を実施しました。

令和5年10月6日（金）、本校電気科2年生を対象として（一財）関東電気保安協会による講義ならびに実習を行いました。

講義「低圧電気の供給形態」では、家庭や事務所で使用している低圧電気について、配線や法的な工事範囲について学びました。

実習では、絶縁抵抗測定と接地抵抗測定を行いました。

絶縁抵抗は、電気を送っているときに漏電する恐れがないか確認するために測定します。実習では漏電箇所を見つける作業を習いました。

接地抵抗は、人が感電しないように行う接地工事の抵抗値のことです。人体に流れてしまう電流を小さくするためには抵抗値は低い方が良く、規定の抵抗値以下になっているか測定しました。

最後の質疑応答では、広報担当の深谷様や鹿島事業所長の子安様、OBの太田光さんから貴重なお話をいただき、よい学びを得ていたと思います。

○講話「低圧電気の供給形態」



○質疑応答の様子



○絶縁抵抗測定



○接地抵抗測定

